

平成24年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成24年度クリーニング師試験問題  
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、クリーニング師免許、研修についての記述である。文中の( )の中に当てはまる語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、( )以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
2. クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、( )以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
3. クリーニング業法第12条の規定により免許の取消処分を受けた者は、( )以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
4. クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後( )以内に、クリーニング業法の規定による研修を受けなければならない。また、その後は( )を超えない期間ごとに当該研修を受けなければならない。

【語群】

ア.3日 イ.5日 ウ.10日 エ.1月 オ.6月 カ.1年 キ.3年

問2 次の文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を、( )に記入しなさい。

- 1 ( ) 「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま、あるいは解体して洗たくすることをいう。
- 2 ( ) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡のみを行うクリーニング所ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- 3 ( ) クリーニング所の営業は、都道府県知事にあらかじめ届け出ることによりただちに始めることができる。
- 4 ( ) 施設の改修のようなやむを得ない場合は、届出したクリーニング所以外の場所で洗濯物の処理を行うことができる。
- 5 ( ) Sマークとは、消費者がサービスを利用する際の選択の利便を図るため、都道府県生活衛生営業指導センターが、その登録業務を行っている「標準営業約款」の登録店のマークである。

- 6 ( ) 車のみを用いて行う無店舗取り次ぎ営業をする場合は、都道府県知事に届け出る必要がある。
- 7 ( ) 溶剤として使用するトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンは、放置すると蒸発するので、側溝に流してもさしつかえない。
- 8 ( ) クリーニング師とは、クリーニング師試験に合格した者のことである。
- 9 ( ) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関して犯罪を犯して罰金刑以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

問3 次の文は、クリーニング業営業者の義務に関する記述である。文中の ( ) の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、( ) をそれぞれ少なくとも一台備えなければならない。
2. 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして ( ) で指定する洗たく物を取り扱う場合においては、その洗たく物は他の洗たく物と区分しておき、これを洗たくするときは、その前に ( ) しなければならない。
3. 洗場については、床が ( ) で築造され、これに適当なこう配と排水口を設けなければならない。
4. クリーニング業法では、営業者は洗たく物の受取及び引渡しをするに際し、利用者に対してあらかじめ洗たく物の処理方法等について説明するとともに、( ) を明示することが義務づけられている。

**【語群】**

ア. 洗たく機及び乾燥機    イ. 洗たく機及び脱水機    ウ. 厚生労働省令    エ. 条例  
オ. 予備洗い    カ. 消毒    キ. 浸透性材料    ク. 不浸透性材料    ケ. クリーニング業法  
コ. 苦情の申出先    サ. 利用料金    シ. 仕上がり日

問4 次の文は、クリーニング業法に関する記述です。文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その番号を○で囲みなさい。

1. クリーニング業法は、クリーニング業に対して、主として（ ①環境衛生 ②公衆衛生 ③生活衛生 ④環境保全 ）の見地から必要な（ ①指導及び取締 ②指導及び改善 ③改善及び取締 ④講習及び試験 ）を行い、もってその経営を（ ①個人の福祉 ②営業者の利益 ③公共の福祉 ④公共の利益 ）に適合させることを目的とする。
2. クリーニング取次所については、営業者は（ ①都道府県知事 ②厚生労働大臣 ③経済産業大臣 ④沖縄県生活衛生営業指導センター理事長 ）への開設の届出が必要である。
3. クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を（ ①環境衛生指導員 ②環境衛生取締員 ③環境衛生監視員 ④経営指導員 ）という。
4. クリーニング業生活衛生同業組合は、（ ①クリーニング業法 ②地域保健法 ③地方自治法 ④生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律 ）に基づき、自主的に衛生水準を遵守し、衛生措置の改善向上を図るため都道府県ごとに組織された団体である。

問5 次の文は、クリーニング業及びクリーニング所で働く者に関する法令の記述である。文中の（ ）の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. 健康上特に有害な業務については、1日につき（ ）を超えて労働時間の延長ができないことになっている。この有害業務の範囲は、労働基準法施行規則に明記されている。
2. 労働安全衛生法に基づき、事業者は新たに（ ）、また、労働者の（ ）を変更したときは安全衛生教育をしなければならない。
3. 労働基準法は、労働時間について、休憩時間をのぞいて、1週40時間、1日8時間を規定している。休憩については、労働者が6時間働く場合には（ ）以上、8時間以上働く場合には（ ）以上の休憩を与えなければならないとされている。

**【語群】**

ア.30分 イ.45分 ウ.1時間 エ.2時間 オ.3時間 カ.休憩 キ.賃金  
ク.作業内容 ケ.免許を取得したとき コ.事業所を開設したとき  
サ.労働者を雇い入れたとき

探	点

平成24年度クリーニング師学科試験問題  
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文中の( )の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

健康についてWHO憲章では、「健康とは、( )的、精神的ならびに( )的に完全に良好な状態であって、単に( )や虚弱でないということだけではない。」と定義し、さらに「及ぶ限りの最高の健康水準<sup>きょうじゆ</sup>を享受することは、人種、宗教、政治的( )、経済的状态の如何<sup>いかん</sup>を問わず、すべての人間の基本的( )である。」ことを強調し「政府はその国民の健康に対して責任を負うものである。」としている。

【語群】

ア. 個人 イ. 社会 ウ. 疾病<sup>しつべい</sup> エ. 権利 オ. 信条 カ. 肉体

問2 次の文中の( )の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 塩素剤による消毒とは、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素(ア. 250 イ. 300 ウ. 350) ppm以上の水溶液中に30℃以上で(ア. 5 イ. 10 ウ. 15)分間以上触れさせること。この場合、終末遊離塩素<sup>しゅうまつゆうりえんそ</sup>が(ア. 60 イ. 80 ウ. 100) ppmを下らないこと。
- 2 熱湯による消毒とは80℃以上の熱湯に(ア. 5 イ. 10 ウ. 15)分間以上浸すこと。
- 3 蒸気による消毒とは、蒸気がま等を使用し、(ア. 80 イ. 90 ウ. 100)℃以上の湿熱<sup>しつねつ</sup>に10分間以上触れさせること。

問3 次の文中の( )の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、一般廃棄物の処理は、(ア. 国 イ. 県 ウ. 市町村 エ. 事業者)の責務、産業廃棄物は、(ア. 国 イ. 県 ウ. 市町村 エ. 事業者)の責務としている。

2 (ア. テトラクロロエチレン イ. 石油系溶剤 ウ. エタン) は水質汚濁防止法で有害物質に指定され、排水1リットルあたり(ア. 0.1mg イ. 0.1g ウ. 0.1kg)の排水基準が設定されている。

3 (ア. CFC113を含む汚泥 イ. 石油系溶剤を含む汚泥 ウ. 中性洗剤を含む汚泥) は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に規定する特別管理産業廃棄物である。

問4 次の文中の( )の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

クリーニング業は、人の肌に( )接する衣類等や、また( )等に汚染された可能性のある衣類等を取り扱う( )である。また、接客業でもあるので、従業員の( )、施設設備、( )等のルールを遵守することが重要である。

**【語群】**

ア. 間接 イ. 健康管理 ウ. 営業 エ. 衛生管理 オ. 直接 カ. 病原菌  
キ. 生活環境 ク. 販売 ケ. 飲食物 コ. 安全管理

採点

平成24年度クリーニング師学科試験問題  
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、ドライクリーニングについて述べたものです。文中の( )の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

油脂分の多い食べこぼしや( ) タール等の油脂性の汚れは、ドライクリーニングをすることによって( ) するために落ちやすい。また、外衣についている固形汚れは油脂性の汚れによって( ) している場合が多いのでドライクリーニングの( ) で油脂が溶けると落ちるか落ち易くなる。

( ) 等の水溶性汚れを、可能な限り( ) に除去するためには、「( )」の水と( ) の界面化学的な力で( ) 化状態にして、水溶性汚れをかなり落とすことができる。これを( ) という。

【語群】

ア.同時 イ.洗剤 ウ.汗分 エ.微量 オ.溶解 カ.溶剤 キ.粘着  
ク.チャージ ケ.皮脂 コ.可溶

問2 次の文は、シミ抜きについて述べたものです。文中の( )の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

染色した( ) 製品に発生したカビなら、まず十分に( ) して、軽くブラッシングし、跡が残るような場合には( ) シミ抜き剤をつけて、ブラシで軽くたたく程度で十分さしつかえない程度に除去できる。しかし、白生地では( ) に関係なくカビの跡が残るため( ) を適当に使用する必要がある。

【語群】

ア.羊毛 イ.漂白剤 ウ.洗剤 エ.素材 オ.油性 カ.水性  
キ.ポリ塩化ビニル ク.乾燥

問3 次の文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を、( )に記入しなさい。

- ( ) 洗たく物の点検は必ず品物を預かった時に顧客の前で行い、修理や補修、特別なシミ抜きを行う必要がある場合は、その料金を顧客に示し、了解を得ることが必要である。
- ( ) チャージシステムでは、ソープ濃度は0.5～1%を用いるのが普通である。



- 3 ( ) ドライクリーニングで一般的にドライ洗剤を添加するのは、水溶性の汚れも除去するためである。
- 4 ( ) ドライクリーニング後の包装は、保管用袋である。
- 5 ( ) ウェットクリーニングとは、ドライクリーニングで除去されにくい水溶性汚れやシミを除くため、本来ならばドライクリーニングすべきものを水洗いすることをいう。
- 6 ( ) シミ抜きは、まず不溶性のシミを処理し、次に水溶性のシミ、最後に油性のシミの順に処理を行う。これがシミ抜き方法の基本である。

問4 次のA群の汚れの種類と最も関係の深い除去方法をB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。

【A群】		【B群】	
1	動植物油脂 ( )	ア	水、ドライ洗剤
2	砂、泥 ( )	イ	シミ抜き
3	食塩、砂糖 ( )	ウ	ドライ機の物理的作用
4	ペンキ、染料 ( )	エ	テトラクロロエチレン

問5 次のA群と最も関係の深いものをB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。

【A群】		【B群】	
1	動物繊維 ( )	ア	アセテート
2	植物繊維 ( )	イ	ポリエステル
3	再生繊維 ( )	ウ	綿
4	半合成繊維 ( )	エ	キュプラ
5	合成繊維 ( )	オ	絹

採 点

平成24年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成24年度クリーニング師試験問題  
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、クリーニング師免許、研修についての記述である。文中の( )の中に当てはまる語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

4点×5=20点

1. クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、( **エ** ) 以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
2. クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、( **ウ** ) 以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
3. クリーニング業法第12条の規定により免許の取消処分を受けた者は、( **イ** ) 以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
4. クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後( **カ** ) 以内に、クリーニング業法の規定による研修を受けなければならない。また、その後は( **キ** ) を超えない期間ごとに当該研修を受けなければならない。

【語群】

ア.3日 イ.5日 ウ.10日 エ.1月 オ.6月 カ.1年 キ.3年

問2 次の文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を、( ) に記入しなさい。

3点×9=27点

- 1 ( **×** ) 「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま、あるいは解体して洗たくすることをいう。
- 2 ( **×** ) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡のみを行うクリーニング所ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- 3 ( **×** ) クリーニング所の営業は、都道府県知事にあらかじめ届け出ることによりただちに始めることができる。
- 4 ( **×** ) 施設の改修のようなやむを得ない場合は、届出したクリーニング所以外の場所で洗濯物の処理を行うことができる。
- 5 ( **○** ) Sマークとは、消費者がサービスを利用する際の選択の利便を図るため、都道府県生活衛生営業指導センターが、その登録業務を行っている「標準営業約款」の登録店のマークである。

- 6 ( ○ ) 車のみを用いて行う無店舗取り次ぎ営業をする場合は、都道府県知事に届け出る必要がある。
- 7 ( × ) 溶剤として使用するトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンは、放置すると蒸発するので、側溝に流してもさしつかえない。
- 8 ( × ) クリーニング師とは、クリーニング師試験に合格した者のことである。
- 9 ( ○ ) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関して犯罪を犯して罰金刑以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

問3 次の文は、クリーニング業営業者の義務に関する記述である。文中の ( ) の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。 4点×5=20点

1. 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、( イ ) をそれぞれ少なくとも一台備えなければならない。
2. 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして ( ウ ) で指定する洗たく物を取り扱う場合においては、その洗たく物は他の洗たく物と区分しておき、これを洗たくするときは、その前に ( カ ) しなければならない。
3. 洗場については、床が ( ク ) で築造され、これに適当なこう配と排水口を設けなければならない。
4. クリーニング業法では、営業者は洗たく物の受取及び引渡しをするに際し、利用者に対してあらかじめ洗たく物の処理方法等について説明するとともに、( コ ) を明示することが義務づけられている。

**【語群】**

ア. 洗たく機及び乾燥機    イ. 洗たく機及び脱水機    ウ. 厚生労働省令    エ. 条例  
オ. 予備洗い    カ. 消毒    キ. 浸透性材料    ク. 不浸透性材料    ケ. クリーニング業法  
コ. 苦情の申出先    サ. 利用料金    シ. 仕上がり日

問4 次の文は、クリーニング業法に関する記述です。文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その番号を○で囲みなさい。 3点×6＝18点

1. クリーニング業法は、クリーニング業に対して、主として（ ①環境衛生 ②公衆衛生 ③生活衛生 ④環境保全 ）の見地から必要な（ ①指導及び取締 ②指導及び改善 ③改善及び取締 ④講習及び試験 ）を行い、もってその経営を（ ①個人の福祉 ②営業者の利益 ③公共の福祉 ④公共の利益 ）に適合させることを目的とする。
2. クリーニング取次所については、営業者は（ ①都道府県知事 ②厚生労働大臣 ③経済産業大臣 ④沖縄県生活衛生営業指導センター理事長 ）への開設の届出が必要である。
3. クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を（ ①環境衛生指導員 ②環境衛生取締員 ③環境衛生監視員 ④経営指導員 ）という。
4. クリーニング業生活衛生同業組合は、（ ①クリーニング業法 ②地域保健法 ③地方自治法 ④生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律 ）に基づき、自主的に衛生水準を遵守し、衛生措置の改善向上を図るため都道府県ごとに組織された団体である。

問5 次の文は、クリーニング業及びクリーニング所で働く者に関する法令の記述である。文中の（ ）の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。 3点×5＝15点

1. 健康上特に有害な業務については、1日につき（ エ ）を超えて労働時間の延長ができないことになっている。この有害業務の範囲は、労働基準法施行規則に明記されている。
2. 労働安全衛生法に基づき、事業者は新たに（ サ ）、また、労働者の（ ク ）を変更したときは安全衛生教育をしなければならない。
3. 労働基準法は、労働時間について、休憩時間をのぞいて、1週40時間、1日8時間を規定している。休憩については、労働者が6時間働く場合には（ イ ）以上、8時間以上働く場合には（ ウ ）以上の休憩を与えなければならないとされている。

【語群】

ア.30分 イ.45分 ウ.1時間 エ.2時間 オ.3時間 カ.休憩 キ.賃金  
ク.作業内容 ケ.免許を取得したとき コ.事業所を開設したとき  
サ.労働者を雇い入れたとき

探	点

平成24年度クリーニング師学科試験問題  
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文中の ( ) の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。  
5点×5=25点

健康についてWHO憲章では、「健康とは、(カ) 的、精神的ならびに (イ) 的に完全に良好な状態であって、単に (ウ) や虚弱でないということだけではない。」と定義し、さらに「及ぶ限りの最高の健康水準<sup>きょうじゆ</sup>を享受することは、人種、宗教、政治的 (オ)、経済的状态<sup>いかん</sup>の如何を問わず、すべての人間の基本的 (エ) である。」ことを強調し「政府はその国民の健康に対して責任を負うものである。」としている。

【語群】

ア. 個人    イ. 社会    ウ. 疾病<sup>しつべい</sup>    エ. 権利    オ. 信条    カ. 肉体

問2 次の文中の ( ) の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。  
5点×5=25点

- 1 塩素剤による消毒とは、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素 (ア. 250    イ. 300    ウ. 350) ppm以上の水溶液中に30℃以上で (ア. 5    イ. 10    ウ. 15) 分間以上触れさせること。この場合、終末遊離塩素<sup>しゅうまつゆうりえんそ</sup>が (ア. 60    イ. 80    ウ. 100) ppmを下らないこと。
- 2 熱湯による消毒とは80℃以上の熱湯に (ア. 5    イ. 10    ウ. 15) 分間以上浸すこと。
- 3 蒸気による消毒とは、蒸気がま等を使用し、(ア. 80    イ. 90    ウ. 100) ℃以上の湿熱<sup>しつねつ</sup>に10分間以上触れさせること。

問3 次の文中の ( ) の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。  
5点×5=25点

- 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、一般廃棄物の処理は、(ア. 国    イ. 県    ウ. 市町村    エ. 事業者) の責務、産業廃棄物は、(ア. 国    イ. 県    ウ. 市町村    エ. 事業者) の責務としている。

2 (ア) テトラクロロエチレン (イ) 石油系溶剤 (ウ) エタン) は水質汚濁防止法で有害物質に指定され、排水1リットルあたり (ア) 0.1mg (イ) 0.1g (ウ) 0.1kg) の排水基準が設定されている。

3 (ア) CFC113を含む汚泥 (イ) 石油系溶剤を含む汚泥 (ウ) 中性洗剤を含む汚泥) は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に規定する特別管理産業廃棄物である。

問4 次の文中の ( ) の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。  
5点×5=25点

クリーニング業は、人の肌に ( オ ) 接する衣類等や、また ( カ ) 等に汚染された可能性のある衣類等を取り扱う ( ウ ) である。また、接客業でもあるので、従業員の ( イ )、施設設備、( エ ) 等のルールを遵守することが重要である。

【語群】

ア. 間接    イ. 健康管理    ウ. 営業    エ. 衛生管理    オ. 直接    カ. 病原菌  
キ. 生活環境    ク. 販売    ケ. 飲食物    コ. 安全管理

採点



平成24年度クリーニング師学科試験問題  
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、ドライクリーニングについて述べたものです。文中の( )の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

3点×10=30点

油脂分の多い食べこぼしや(ケ) タール等の油脂性の汚れは、ドライクリーニングをすることによって(オ) するために落ちやすい。また、外衣についている固形汚れは油脂性の汚れによって(キ) している場合が多いのでドライクリーニングの(カ) で油脂が溶けると落ちるか落ち易くなる。

(ウ) 等の水溶性汚れを、可能な限り(ア) に除去するためには、「(エ)」の水と(イ) の界面化学的な力で(コ) 化状態にして、水溶性汚れをかなり落とすことができる。これを(ク) という。

【語群】

ア.同時 イ.洗剤 ウ.汗分 エ.微量 オ.溶解 カ.溶剤 キ.粘着  
ク.チャージ ケ.皮脂 コ.可溶

問2 次の文は、シミ抜きについて述べたものです。文中の( )の中に当てはまる正しい語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

3点×5=15点

染色した(ア) 製品に発生したカビなら、まず十分に(ク) して、軽くブラッシングし、跡が残るような場合には(オ) シミ抜き剤をつけて、ブラシで軽くたたく程度で十分さしつかえない程度に除去できる。しかし、白生地では(エ) に関係なくカビの跡が残るため(イ) を適当に使用する必要がある。

【語群】

ア.羊毛 イ.漂白剤 ウ.洗剤 エ.素材 オ.油性 カ.水性  
キ.ポリ塩化ビニル ク.乾燥

問3 次の文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を、( )に記入しなさい。

4点×6=24点

- (○) 洗たく物の点検は必ず品物を預かった時に顧客の前で行い、修理や補修、特別なシミ抜きを行う必要がある場合は、その料金を顧客に示し、了解を得ることが必要である。
- (○) チャージシステムでは、ソープ濃度は0.5～1%を用いるのが普通である。

- 3 ( ○ ) ドライクリーニングで一般的にドライ洗剤を添加するのは、水溶性の汚れも除去するためである。
- 4 ( × ) ドライクリーニング後の包装は、保管用袋である。
- 5 ( ○ ) ウェットクリーニングとは、ドライクリーニングで除去されにくい水溶性汚れやシミを除くため、本来ならばドライクリーニングすべきものを水洗いすることをいう。
- 6 ( × ) シミ抜きは、まず不溶性のシミを処理し、次に水溶性のシミ、最後に油性のシミの順に処理を行う。これがシミ抜き方法の基本である。

問4 次のA群の汚れの種類と最も関係の深い除去方法をB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。 4点×4=16点

【A群】		【B群】	
1	動植物油脂 ( エ )	ア	水、ドライ洗剤
2	砂、泥 ( ウ )	イ	シミ抜き
3	食塩、砂糖 ( ア )	ウ	ドライ機の物理的作用
4	ペンキ、染料 ( イ )	エ	テトラクロロエチレン

問5 次のA群と最も関係の深いものをB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。 3点×5=15点

【A群】		【B群】	
1	動物繊維 ( オ )	ア	アセテート
2	植物繊維 ( ウ )	イ	ポリエステル
3	再生繊維 ( エ )	ウ	綿
4	半合成繊維 ( ア )	エ	キュプラ
5	合成繊維 ( イ )	オ	絹

採 点

平成24年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理と洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成24年度クリーニング師実地試験問題  
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の問に対し、正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 白い洗たく物に、酸化漂白と還元漂白の両方を使いたいとき、  
ア 酸化漂白を先にする。  
イ 還元漂白を先にする。  
ウ 両方を同時にする。
- 2 汚れの酸性を中和し、洗剤の洗浄力を増強するために洗剤と併用されるものは、  
ア 次亜塩素酸ナトリウム  
イ メタ珪酸ナトリウム  
ウ 過ホウ素酸ナトリウム
- 3 テトラクロロエチレン（パーク）は石油系溶剤より  
ア 引火性が無く油脂等の洗浄性(力)が高い。  
イ 低毒性で取り扱いが容易。  
ウ 金属やボタン等を溶かす。
- 4 石油系溶剤で使用した使用済みカートリッジフィルターは、  
ア 一般家庭ごみとして処理する。  
イ 特別管理産業廃棄物として処理する。  
ウ どちらでもよい。
- 5 テトラクロロエチレン（パーク）は主に、  
ア オゾン層を破壊する。  
イ 大気を汚染する。  
ウ 地下水を汚染する。
- 6 白いウールをドライクリーニングする場合は、  
ア 新しいソルベントがよい。  
イ 酸価の高い溶剤がよい。  
ウ 1%のソープを含んだ溶剤がよい。

問2 次のA群と最も関係のあるものをB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。

【A群】

- ( ) 脱色、脱臭をする。
- ( ) 脂肪酸をとる。
- ( ) 汚れの粒子を取り、溶剤の流れをよくする。

【B群】

- ア 珪藻土
- イ 活性炭素
- ウ メタ珪酸
- エ 活性白土

問3 次の文のうち正しいものには○、誤っているものには×を( )に記入しなさい。

- 1 ( ) 絹和服の染み抜きには塩素系漂白剤が適している。

- 2 (        )    ウールのセーターは縮みやすいが、アクリルのセーターは伸びやすい。
- 3 (        )    ウェットクリーニングを行う場合、絹は白化しやすいので、湿潤時の摩擦を極力抑える
- 4 (        )    顔料プリントは、テトラクロロエチレン（パーク）によるドライクリーニングが安全でよい。
- 5 (        )    レーヨン湿潤状態では乾燥時の半分まで強度が低下する繊維である。
- 6 (        )    次亜塩素酸ナトリウムは、綿、麻などのセルロース系繊維の漂白に適し、絹、毛、ナイロン、ポリウレタン、染色物には使用できない。

問4 次のA群のシミに対するシミ抜き方法をB群から1つ選び、(        ) の中にその記号を記入しなさい。

**【A群】**

- 1 (        )    マニキュア
- 2 (        )    口紅
- 3 (        )    チューインガム
- 4 (        )    鉄さび

**【B群】**

ア. 80℃程度の温水に溶解した1～2%のシュウ酸溶液をつけ、シミが無色になった後も、水溶性の後処理を4～5回繰り返す。

イ. シンナー、酢酸アミル又は油性シミ抜き剤（石油系ドライ洗剤、オレイン酸、キシレン、水溶性シミ抜き剤及び石油系溶剤の混合剤）等を用い、棒又はブラシでたたき操作を繰り返す。シミが除去されたら、油性の後処理を少なくとも3回以上行う。

ウ. へらで生地を損傷しないようにできるだけかき取る。次に酢酸エチル100 mL、酢酸アミル50 mL、二硫化炭素50 mLの混合溶液をつけ、シミ抜き板の上でシミ抜き棒でたたきながら除去し、油性しみ抜き剤で後処理をする。

エ. 油性シミ抜き剤（石油系ドライ洗剤、オレイン酸、キシレン及び石油系溶剤の混合剤）5 mL、石油系溶剤10～20 mL、モノクロロベンゼン20 mLを混合したシミ抜き剤を使用し、棒又はブラシでたたき操作を行い、シミが除去されたら、油性の後処理を少なくとも3回以上行う。

採 点

平成24年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理と洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成24年度クリーニング師実地試験問題  
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の問に対し、正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

1点×6=6点

- 1 白い洗たく物に、酸化漂白と還元漂白の両方を使いたいとき、  
ア 酸化漂白を先にする。  
イ 還元漂白を先にする。  
ウ 両方を同時にする。
- 2 汚れの酸性を中和し、洗剤の洗浄力を増強するために洗剤と併用されるものは、  
ア 次亜塩素酸ナトリウム  
イ メタ珪酸ナトリウム  
ウ 過ホウ素酸ナトリウム
- 3 テトラクロロエチレン（パーク）は石油系溶剤より  
ア 引火性が無く油脂等の洗浄性(力)が高い。  
イ 低毒性で取り扱いが容易。  
ウ 金属やボタン等を溶かす。
- 4 石油系溶剤で使用した使用済みカートリッジフィルターは、  
ア 一般家庭ごみとして処理する。  
イ 特別管理産業廃棄物として処理する。  
ウ どちらでもよい。
- 5 テトラクロロエチレン（パーク）は主に、  
ア オゾン層を破壊する。  
イ 大気を汚染する。  
ウ 地下水を汚染する。
- 6 白いウールをドライクリーニングする場合は、  
ア 新しいソルベントがよい。  
イ 酸価の高い溶剤がよい。  
ウ 1%のソープを含んだ溶剤がよい。

問2 次のA群と最も関係のあるものをB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。

2点×3=6点

【A群】

- (  ) 脱色、脱臭をする。
- (  ) 脂肪酸をとる。
- (  ) 汚れの粒子を取り、溶剤の流れをよくする。

【B群】

- ア 珪藻土
- イ 活性炭素
- ウ メタ珪酸
- エ 活性白土

問3 次の文のうち正しいものには○、誤っているものには×を( )に記入しなさい。

1点×6=6点

- 1 (  ) 絹和服の染み抜きには塩素系漂白剤が適している。

- 2 (  ) ウールのセーターは縮みやすいが、アクリルのセーターは伸びやすい。
- 3 (  ) ウェットクリーニングを行う場合、絹は白化しやすいので、湿潤時の摩擦を極力抑える
- 4 (  ) 顔料プリントは、テトラクロロエチレン（パーク）によるドライクリーニングが安全でよい。
- 5 (  ) レーヨン湿潤状態では乾燥時の半分まで強度が低下する繊維である。
- 6 (  ) 次亜塩素酸ナトリウムは、綿、麻などのセルロース系繊維の漂白に適し、絹、毛、ナイロン、ポリウレタン、染色物には使用できない。

問4 次のA群のシミに対するシミ抜き方法をB群から1つ選び、( )の中にその記号を記入しなさい。 3点×4=12点

**【A群】**

- 1 (  ) マニキュア
- 2 (  ) 口紅
- 3 (  ) チューインガム
- 4 (  ) 鉄さび

**【B群】**

ア. 80℃程度の温水に溶解した1～2%のシュウ酸溶液をつけ、シミが無色になった後も、水溶性の後処理を4～5回繰り返す。

イ. シンナー、酢酸アミル又は油性シミ抜き剤（石油系ドライ洗剤、オレイン酸、キシレン、水溶性シミ抜き剤及び石油系溶剤の混合剤）等を用い、棒又はブラシでたたき操作を繰り返す。シミが除去されたら、油性の後処理を少なくとも3回以上行う。

ウ. へらで生地を損傷しないようにできるだけかき取る。次に酢酸エチル100 mL、酢酸アミル50 mL、二硫化炭素50 mLの混合溶液をつけ、シミ抜き板の上でシミ抜き棒でたたきながら除去し、油性しみ抜き剤で後処理をする。

エ. 油性シミ抜き剤（石油系ドライ洗剤、オレイン酸、キシレン及び石油系溶剤の混合剤）5 mL、石油系溶剤10～20 mL、モノクロロベンゼン20 mLを混合したシミ抜き剤を使用し、棒又はブラシでたたき操作を行い、シミが除去されたら、油性の後処理を少なくとも3回以上行う。

採 点